平成22年度　001　一般会計
（簡略番号　002854）　当初予算

歳出予算事業概要書

平成22年 4月30日　13時23分　作成　1頁
作　成　者：上井　明彦

			前年度当初予算	前年度現計予算	各課要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源
款	02	総務費						
項	02	徴税費						
目	01	税務総務費	4,631	4,410	4,956	4,956	0	0
大事業	112	固定資産評価支援事業						
中事業	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
小事業	00			0	0	0	0	4,956
細事業	0							

所属課ｺｰﾄﾞ	2000000
所属課名	町民課（税務）
内線番号	

実施計画			実施計画計上額
実施計画	部		
	章		
	節		
	細節		

1．事業の概要と必要性

平成22年度　固定資産土地評価支援及び異動処理業務
◎評価替支援業務：標準宅地・状況類似地区見直し（9地区）、路線価データ更新
◎時点修正対応業務
◎地籍調査登記に伴う図形データ異動処理業務（2地区分）
　異動物件：宮内・藤津・埴見1,759筆　　藤津・方地・埴見897筆
◎異動データチェック（1～12月）

平成24年度評価替え及び平成23年度課税に向けて、適正な課税を行うために必要である。

2．根拠法令

3．用地の状況

4．基本計画との関連

5．本年度の計画効果

・地籍調査終了地域の登記図形データの異動処理を行う。
・町内の調査した農業用施設用地等の計測を行い、評価替えに向けての適正・公平な課税ができる。
・通常分異動データ（表示・権利異動・分合筆）の2重チェックを行うことで、適正な課税業務ができる。
・評価要因等の異動を把握し、標準宅地及び状況類似地区の見直し等を行うことで、平成24年度評価替えにおいて、適正な課税を実現する。（平成23年度実施予定の標準宅地鑑定に用いる・状況類似地区については、広域的な利用状況の変化等を調査し、統廃合及び分割を行う）

目的別
性質別

節

区分		金額
13	委託料	4,956
14	使用料及び賃借料	

本年度の財源内訳

財源	款　項　目　節　細節	金額

6．財源の説明